



校長室より



令和5年12月8日

No.18

12月に入りました。1日（金）に期末テストが終わり、2学期も残すところわずかとなりました。まだ社会見学や宿泊学習などの行事を残している学年もあり、今年のしめくりとしてもうひと踏ん張りがんばってほしいと思っています。

11月27日（月）、認定NPO法人ミュージック・シェアリング主催の訪問コンサートが本校で開催されました。6月には、世界的なバイオリニストである五嶋みどりさんと若手の音楽家による弦楽四重奏団をお迎えしましたが、今回は、第二弾となります。今回は、サクソフォーン奏者の山本直人さん、小田島航太さん、向山周作さんの「3サクソフォーンズ」が来校され、三重奏の演奏を聴かせていただきました。

コンサートは時間を分けて、まず、一学部（入院生）が体育館とはまかぜ教室で演奏会を聴きました。「見上げてごらん夜の星を」など温かく優しい音色が館内に響き渡り、おもしろその迫力に聞き入っていましたね。いつも授業の最後に歌っている「おかえりのうた」も演奏していただき、より身近なものに感じられたと思います。残念ながら会場には来ることができなかった児童生徒については、リモートでベッドサイドまで音色を届けてもらいました。

一学部と入れかわり、二学部（通学生）も体育館で演奏を聴きました。サクソフォーンには、アルト、テナー、バリトンなどの種類があること、その音色の違いや役割についても教えていただきました。リクエストした生徒はY O A S O B Iの「夜に駆ける」を生演奏で演じていただきとても感動していましたね。となりのトトロから「さんぽ」や秋の歌メドレー、カプリッチョ作品など温かく優しく迫力のある音色に感動しました。

コンサートに出かける機会の少ない児童生徒ですので、ほんものの演奏、音楽の迫力を体験することができ、芸術の秋をしめくくるには最高のイベントとなりました。かけがえのない時間を共有できたことに感謝したいです。

